



2017年6月29日

各位

## MERIDA フルモデルチェンジしたエアロードバイク新型「リアクト」を発表

株式会社ミヤタサイクル

株式会社ミヤタサイクル(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:高谷 信一郎)が日本国内での独占販売権を有するスポーツバイクブランド「メリダ」が、2017年のツール・ド・フランスの開幕に先立って、オランダ・アーペルドールンにてフルモデルチェンジをした新型リアクトを発表しました。

これにより、UCIワールドツアーチーム「バーレーン・メリダ プロ・サイクリング チーム」は、7月1日から開幕するツール・ド・フランスを新型リアクトで参戦します。



### 第三世代の新型リアクト:洗練された空力性能

2011年に初代モデルを発表して以来、数々のアップデートを施してきたMERIDAのエアロードバイク「リアクト」。

初代リアクトは、プロロードレースの世界で要望の高まるロードバイクのエアロ化に対応して、エアロフォークやエアロシートチューブ、エアロシートポストなど、当時の最先端のトレンドを取り入れて開発されたエアロロ

ードバイクでした。内装ケーブルはもちろん、いち早く Shimano Di2 システムにも対応した Di2 バージョンも展開していました。また、2012 モデルとして、衝撃吸収素材のインサートを組み込む事で快適性を向上させた S-FLEX シートポストを採用し、エアロロードバイクの快適化を行いました。

しかし、リアクトにとって最大の進化は 2013 年に 2014 モデルとして発表した第二世代リアクトです。TEAM LAMPRE-MERIDA への機材供給開始と同時に投入された第二世代リアクトは、スプリンターや集団から逃げるブレイクアウェイライダーのための究極のエアロロードバイクとして開発が進められました。

第二世代リアクトに先立ってレースに投入された MERIDA の TT バイク、WARP TT の開発で培った空力設計技術を応用することで空気抵抗を最小化。2014 年のドイツ・TOUR MAGAZINE の風洞テストでは、最高のエアロダイナミクス性能を持つロードバイクとして評価されました。同時にヘッドチューブ剛性や、パワー伝達性能についても高い評価を得ました。重量や、快適性の面でもエアロロードバイクとしては、印象的な性能を持っていたのが第二世代リアクトです。

私達の性能向上への努力に立ち止まるという単語はありません。2018 モデルとして発表する第三代となる新型リアクトは、MERIDA 史上、最も空力性能に優れ、軽量で快適なエアロロードバイクです。開発の目標はエアロの向上だけに留まらず、剛性を一切失うことなくフォーク、シートポスト、ベアリングを含むフレームシステム重量で 350.5g の軽量化を達成。リアクトとして初となるディスクブレーキ仕様もラインナップされます。

複雑な機構を用いることなく、高いエアロ性能を手に入れる事は第三代リアクトの開発当初からの目標でした。特殊な部品を極力用いずに、高いメンテナンス性能を実現。可能な限りのシンプルな機構であり、剛性、軽量化、快適性のすべてに妥協する事なくデザインされたエアロロードバイク。つまり洗練された空力性能こそが新型リアクトの特徴です。

## エアロダイナミクス性能の向上

第三代リアクトは、第二世代リアクトと比較すると、風洞実験値で時速 45km/h で走行時に 8ワット分の空気抵抗削減を達成しています。これは約 5%の空力性能の向上に換算されます。主にフレームの一部の部分で断面形状の 1:3 規制が撤廃された最新の UCI 規定に則ったチューブ形状や、シートステイ接合部を低くする事、そしてヘッドチューブと一体化したワンピースコクピットの採用により達成しています。

この空気抵抗の削減は、例えば 100km の距離を単独で走行した際に、伝統的な丸型チューブ形状のロードバイクで 100km のうち 30km 以上をドラフティングしながら走行した時に得られるエアロ効果よりも高い効果を得られる事を意味しています。



## 快適性の向上

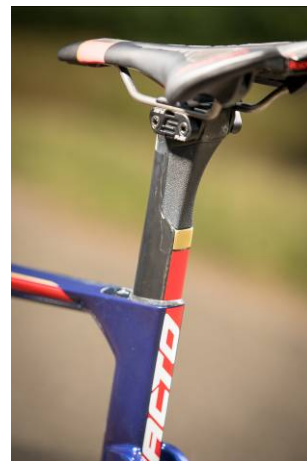
快適性の向上はシートステイの形状見直しとカーボンレイアップの最適化、そして衝撃吸収素材の S-FLEX シートポストの性能向上で達成。

## 軽量化の達成

第二世代リアクトとの比較で、フレーム単体で約 19.2%、フレームシステム重量で 17.13%の軽量化を達成。重量は従来 1250g\*であったフレーム重量は第三世代リアクトでは 1010g となり、フレームシステム重量は 2046g から 1695.5g へと 350.5g の軽量化を達成。

チューブの薄型化とカーボンレイアップの最適化により軽量化を実現。

\*バーレーン・メリダ プロ サイクリング チーム仕様カラー、56cm サイズ重量



## 従来同様の剛性

BB386 規格による BB 部分の大きな接合面積より自由度の高い設計を実現。既に高い評価を集めている第二世代リアクトと同様のフレーム剛性を達成。

## 新しい UCI ルールのアドバンテージ

従来の UCI の 1:3 規制のよらないスリムな断面のシートステイは空力面で圧倒的なメリットを実現。

## DISC COOLER を採用したディスクブレーキ仕様

アルミニウム放熱フィンによってディスクブレーキキャリパーの放熱性能を向上する MERIDA 独自の DISC COOLER を前後に採用したディスクブレーキ仕様をラインナップ。放熱時間を 35%短縮し、安定した制動力を発揮。

## S-FLEX シートポスト

300g から 206g へと大幅に軽量化された S-FLEX シートポストは、衝撃吸収素材とレイアップの最適化により従来よりも快適性を向上。



## インテグレートッドコクピット

ヘッドチューブとトップチューブの集合部は、新型リアクト (REACTO TEAM-E) に装備される Vision Metron 5D コクピットに合わせて設計された形状やスペーサーなどを装備し、Di2 ジャンクションをステム下に内蔵。優れたメンテナンス性能やケーブルルーティングと、卓越した空力性能を両立。

「バーレーン・メリダ プロ・サイクリングチーム」は、2017 シーズンより中東籍初の UCI ワールドツアーチームとなり、2016 年と 2013 年のジロ・デ・イタリアの覇者ヴィンチェンツォ・ニバリ選手をはじめ、日本人 NO.1 ライダーの新城幸也選手などグランツール、ステージレースそしてクラシックレースとあらゆるレースで活躍できる選手を獲得し、世界中で存在感を示すことのできるチームです。

◎商品についてのお問い合わせはこちら

株式会社ミヤタサイクル お客様相談室

TEL.044-221-0191 平日 9:30～17:30(土・日・祝日休み)

■会社概要

商号：株式会社ミヤタサイクル

代表者：代表取締役 高谷 信一郎

所在地：〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町 11-27 リーガル川崎ビル 8F

設立：2010年6月(創業 1890年)

事業内容：自転車の製造販売

資本金：10,000万円

URL：<http://www.miyatabike.com>